



(別添)

2021年5月27日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中国支所

News Release

調理家電の落とし穴 ～汚れた電子レンジ・オーブントースターは NO!!～

—中国5県版—

1. 調理家電に関する事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{※1}では、調理家電に関する事故^{※2}は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では2016年度から2020年度までの5年間に30件^{※3}ありました。

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。
- (※2) 電子レンジ、オーブントースター、IH調理器等を含む。
- (※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1に「年度別・県別」調理家電に関する事故発生件数を示します。

表1 「年度別・県別」調理家電に関する事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2016年度			2	3	2	7
2017年度			3	1		4
2018年度			2	2	2	6
2019年度			3	2	2	7
2020年度		3	1	2		6
合計	0	3	11	10	6	30

(2) 中国5県の被害状況別 事故発生件数

表2に「被害状況別・県別」調理家電に関する事故発生件数を示します。

表2 「被害状況別・県別」調理家電に関する事故発生件数

被害状況 ^{※4}		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
人的被害	死亡					1	1
	重傷					1	1
	軽傷						0
物的被害	拡大被害		2	7	7	1	17
	製品破損		1	3	2	3	9
被害なし				1	1		2
合計		0	3	11	10	6	30

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 事故事例の概要について

中国5県で発生した、調理家電の主な事例を示します。

- ① **電気グリルなべの内部に製造不良箇所が残っていたため発生した事故。**
2016年11月（広島県、60歳代・女性、被害無し）
【事故の内容】
電気グリルなべの電源プラグが高温になっていた。
【事故の原因】
電源プラグ内のコード芯線接続部にカシメ不良がある不具合品が混入したため、接触不良により異常発熱が生じたものと推定される。

- ② **電源コードを繰り返し曲げて使用したことによりコードが断線し、出火した事故。**
2018年8月（山口県、30歳代・女性、拡大被害）
【事故の内容】
電気オーブンレンジを使用中、電源プラグの根元付近から出火した。
【事故の原因】
電源プラグ側の電源コードプロテクター付近に過度な応力が繰り返し加わったため、芯線が断線し、スパークが生じたものと推定される。
なお、取扱説明書には、「電源プラグを抜くときは電源コードを持って引き抜かない。」旨、記載されている。

- ③ **電気こんろの上に可燃物を置いたまま使用したため火災が起こった事故。**
2019年8月（広島県、年齢・性別不明、拡大被害）
【事故の内容】
電気こんろの上に置かれていた可燃物を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。
【事故の原因】
身体等が電気こんろのつまみに誤って触れてスイッチが入り、電気こんろの上に置いていた可燃物などが燃えたものと考えられる。

3. 調理家電の実験映像について

調理家電に関連したの実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎3号館
独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所
担当者：東瀬、折田
電話：082-211-0411